

港区史編さんだより

～ 区民の皆さんと歩み、歴史を語り継ぐ～

発行：港区総務部総務課区史編さん担当
〒105-8511 港区芝公園1-5-25/TEL 03-3578-2049/https://www.city.minato.tokyo.jp/



今号の表紙

昭和42年頃の、高輪歩道橋からの眺望の写真です。第一京浜に行く都電3系統（品川駅－飯田橋）。終点の品川駅に到着する直前ですが、行先は既に折返し飯田橋を表示しています。この電車「6000形」は、約300両製造された戦後の都電を代表する車両。当時の東京を知る人の中には、都電と言えばこのタイプの電車を思い浮かべる方も多いかもかもしれません。都電については、令和4年3月刊行の『港区史』通史編近代（当時は市電であった）に記述があります。是非ご覧ください。



目次

- Zoom Up 『港区史』通史編 近代（上・下）を刊行しました・・・P2
『港区教育史』も刊行しました・・・P2
- Pick Up 編さん過程のヒトコマ・・・P3
区民インタビューを実施しました・・・P4
区民インタビューを公開しました・・・P4



■ 通史編 近代(上・下)

A5判 | 口絵カラー | ソフトカバー |
上: 356 ページ 下: 408 ページ

明治前期から戦時体制まで、それぞれの時期で行政・政治、土地利用、教育、経済、衛生、公安、宗教、軍事・兵事などの分野について詳しく記述しています。また、文化や史跡・近代建築についても取り上げます。芝区・麻布区・赤坂区からなる港区域の近代を見つめ直すことは、日本の近代そのものを明らかにする作業と多くの部分で重なります。

■ 価格 各巻 3,000 円

■ 販売場所 港区役所 区政資料室
麻布地区総合支所 赤坂地区総合支所
高輪地区総合支所 芝浦港南地区総合支所
港区立郷土歴史館

港区立の各図書館でもご覧いただけます

◆ デジタル版『港区史』 ◆

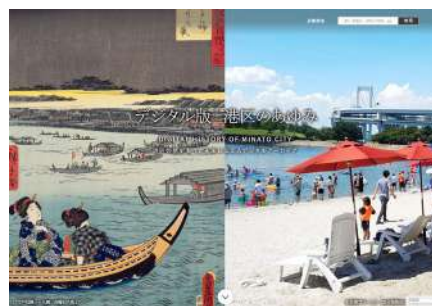
「デジタル版 港区のあゆみ～港区の歴史を今と未来に伝えるデジタルアーカイブ～」にて公開中!

<https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/Usr/1310305100/>

今回刊行する『港区史』は、インターネットでも公開しています。
どなたでも、どこにいても
『港区史』やその関連資料を閲覧することができます。



港区のあゆみ



『港区教育史』も刊行しました

港区教育委員会では、港区の地における150年を超える教育のあゆみを体系的に記録し、分かりやすく親しみやすい、後世に語り継いでいける『港区教育史』を編さんしています。

3月1日に、通史編(全9巻)と資料編(全1巻)を刊行しました。Web版「デジタル港区教育史」でも同時公開しています。今後は、令和5年3月に11巻目の「くらしと教育編」を刊行予定です。

価格: 各巻 3,500 円 販売場所: 上記『港区史』と同じ

Webサイト「デジタル港区教育史」でも公開しています!



史資料調査・撮影を行いました

古代・中世部会では、資料編の刊行に向けて、長青山宝樹寺梅窓院（南青山二丁目）と麻布山善福寺（元麻布一丁目）に残っている板碑（板状に加工した石でつくられた供養塔）の調査を実施しました。調査の工程としては、まず板碑の撮影・採寸をした後、形状や特徴を観察・記録し、最後に拓本（※）採取を行いました。

■梅窓院 板碑調査 令和3年12月20日実施

梅窓院は、寛永20年（1643）に死去した老中青山幸成の屋敷地に建立された浄土宗寺院です。応永11年（1404）の紀年銘をもつ板碑が1基保管されており、大きさは高さ約70cm×幅約20cmと、区内に残る板碑のなかでは比較的大型のものです。表面に刻まれている文字や、裏面の「押し削り痕」（板碑の製作過程を示すもの）が明瞭に残っていました。



■善福寺 板碑調査 令和4年1月23日実施

善福寺は、空海によって創建された伝承をもつ港区を代表する大寺院です。多くの板碑が残っており、今回は延文3年（1358）から長禄3年（1459）までの紀年銘をもつ5基の板碑を調査しました（このうち1基は下部欠損のため年代不明）。火災によるものと思われる酸化して赤褐色になっている部分があるものや、製作年代や分布域を判断する手掛かりとなる花瓶が描かれているものもありました。



※ 拓本とは…

石碑や器物などに刻まれた文字・文様、絵画あるいは石仏の姿などを、直接あてた紙の上から墨をたたいて写し取ったもの。あるいは、その複写方法を指します。

編さん委員会、古代・中世部会を開催しました

■ 令和4年度第1回港区史編さん委員会

資料編の刊行スケジュール、巻構成、『港区史』全体の献本について検討を行いました。

令和4年4月27日 開催

■ 令和4年度第1回監修者会議

資料編の巻構成・ページ配分、スケジュール等について検討を行いました。

令和4年5月20日 開催

■ 古代・中世部会

資料編の体裁・構成や制作スケジュールについて検討を行いました。

令和4年4月18日 開催



Pick Up 区民インタビューを実施しました



野尻三重子さん
(インタビュー実施日：令和4年(2022)3月14日)

港区民生委員・児童委員協議会 会長
港区史編さん委員 など

ご結婚を機に芝大門に転入後、地域の関わりの中で港区の民生委員・児童委員への推薦を受けられました。当初は欠員を埋める間の「繋ぎ」と思って引き受けられたそうですが、以降30年以上の長きにわたって、民生委員・児童委員としてご活躍です。

今では困っている人とその解決ができる人・組織を「繋ぐ」ことが喜びとなったという野尻さん。就任当時苦労されたこと、時代とともに変化する役割などをお聞きしました。

小林元子さん
(インタビュー実施日：令和4年(2022)3月23日)

港区人権擁護委員
港区地域学校協働本部統括地域コーディネーター
港区史編さん委員 など

南青山に生まれ、区立の幼稚園、小・中学校に通い、大学卒業後は小学校教諭、教頭、校長として複数の区の小学校で勤務されました。退職後は港区のつばさ教室の指導員として5年間、子どもたちと直接かかわる活動を続けられました。

現在は人権擁護委員としてご活躍の小林さん。学校への人権教室、SOS ミニレターの取り組みといった具体的な活動内容や、長年暮らしてこられた港区について思うことなどをお聞きしました。



インタビュー映像は、区史編さんサイト「デジタル版 港区のあゆみ」にて、2022年8月に公開予定です。

区民インタビューを公開しました

昨年度撮影した「区民インタビュー」の動画を公開しました。インタビューに答えてくださったのは、金井泰子さんと南かほるさんです。「デジタル版 港区のあゆみ」の、「動画でみる港区のあゆみ」から、どなたでも見ることができます。是非ご覧ください。



編集後記

3月末に刊行した『港区史』通史編 近代の編さんに当たっても、たいへん多くの方々にご協力いただきました。ありがとうございました。ぜひお手に取って、またはWebでご覧くださいませ。

今年度末には、通史編 現代の刊行を予定しています。港区誕生から戦後復興、街の変化と、時代背景に伴って変化した行政施策、人口の変化、国際化など、港区の70年のあゆみを分野ごとに編さんしています。お楽しみに。